

【概要】

放射性同位元素（ラジオアイソトープ、R I）に関する基礎的な知識を修得し、薬学領域においてその特性がいかに活かされ、利用されているかを学ぶ。薬学領域でのR Iの利用とその技術は、核医学やバイオテクノロジーなどの発展にともない、ますます重要になってきている。放射薬品学では、こうした分野でR Iが有効に利用されることを目指して、その基礎にあるR Iの物理、化学及び生物学の基礎知識を修得することを主な目的としている。さらにこうした知識の上に立ち、R Iの薬学における利用法とその有効性、並びに強大なエネルギーを放射する性質を有するが故に生ずる諸問題について学ぶ。最後に臨床的重要性が大きい放射性医薬品（核医学診断・治療薬剤）の現状と将来展望についても触れる。

【授業実施形態】

面接授業

授業実施形態は、各学部（研究科）、学校の授業実施方針による。